

第4回津田地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年1月16日（水） 午後7時30分から午後9時10分

場 所：津田支所 2階委員会室

参加者：委員18名（欠席2名）

事務局 教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：1名

1. 会議の公開・非公開について

公開とする。

2. 議題

(1) 報告

①第3回津田地区学校再編計画地域協議会結果の報告

(2) 議事

①第1回学校再編計画地域連絡協議会結果について

②小学校の適正配置について

③中学校の適正配置について

(質疑応答)

(委員) 北山幼稚園児がいれば送迎はどうするのか。

(事務局) 基本的には幼稚園児は保護者の送迎であるが、北山の場合、現状は送迎をしている。

(委員) 安全面から考えれば幼稚園児、小学生はタクシーで送迎をお願いしたい。下校時はいろいろな時間があるので2回といわず、検討してほしい。

(事務局) 現在の状況は下校時間帯の調整はもちろん、学校やタクシー会社で協議をしている。また、児童の名簿、乗車確認等は運転手が行い、安全面には配慮している。

(委員) マイクロバスは学校の所有なのか、それとも市の所有にするのか。

(事務局) 現時点では市の所有と考えている。運営方法としては、いろいろな方法がある。例えば業者に委託する方法と市が運転手を雇い、直接運営する方法がある。

(委員) 一番安い方法は。

(事務局) 一番安い方法はマイクロバスを市が購入し、運転手を時間で雇うのが安いと

思われる。

(委員) マイクロバスになった場合、家庭の負担はどうなるのか。

(事務局) 負担はない。

(委員) 安全で安価な方法でやっていてもらいたい。

(委員) 津田小学校に吉見、北羽立あたりから通っているのか。

(事務局) 北羽立あたりから徒歩で50分くらいかかっているところがある。

(委員) 鶴羽地区の2.2~2.5キロ以上はバスで、津田地区の吉見、北羽立もバスの方がいいのではないか。

(委員) 低学年の時はマイクロバスで、高学年は歩くというのも考えられるのでないか。

(委員) 津田小学校区もバスを考えてほしい。

(事務局) 詳しくは今後、協議していく。

(委員) 中学校の再編計画は、地域連絡協議会で協議を進めていくのか。

(事務局) 1月31日の地域連絡協議会で具体的に資料を出して、検討する。

(委員) 中学校の通学では鶴羽西町東は自転車で通学しているが、中学校の自転車通学範囲は。

(事務局) 学校によって多少違うが、2キロ以上であれば許可している。最近生徒数も少なくなり、駐輪場が空いているので希望者は自転車の場合もある。

(委員) 自転車通学範囲は鶴羽は鶴羽小学校から東、津田は津田川から西が自転車通学の許可をしている。

(委員) 中学校再編で3校という案もPTA会長会の中でも出ている。また自由な学びの場所の選択が出来るような意見も提案していきたい。コミュニティバスの時間、ルートも学校用に見直し、利用出来るように考えてはどうか。

(委員) 将来の生徒数を見れば、中学校は3校案でもいいのではないか。

(事務局) 計画案ではなるべく自転車通学ということで4校案になった。建設費から見ると3校の建設費は約22億、4校であれば約32億の見込みである。いちがいに人数だけでなく距離とか地勢も考え、4校案になった。

(委員) 昨今、治安も悪くなっている、通学路には今後、よく考えてほしい。

(委員) 通学路の整備、街灯とか歩道とかの整備はしてくれるのか。最低限は整備してほしい。

(事務局) 通学路が変わったことにより、その通学路の整備は関係部署と協議しながら早急にできるものは改善し、すぐに出来ないものはそれに変わるべき対応をしていく。安全面に関してはかかせない最低限の問題なので進めていく。

(委員) 津田小学校PTAの役員会では、子どもに悪影響が出ない限り、統合には問題ないと考える。例えば環境の変化による不安解消、金銭的負担が極力ないこと、また、いじめ等もなくスムーズに統合できれば賛成であるという意見であった。

(事務局) 小学校の再編については、いままでの意見を取りまとめ、今後の検討課題も含め報告する。幼稚園については次回、協議する。

3 次回の日程について

日時：平成20年2月13日(水) 午後7時30分

場所：津田支所 2階委員会室